

第5回 宇治西小倉学園 開校準備委員会 会議録

日 時 令和7年1月27日（月） 19時00分

場 所 宇治市立西小倉小学校 ランチルーム

会 議 日 程

1. 開会
2. 報告事項
 - ・ 宇治西小倉学園開校準備委員会設置要項について
3. 専門部会の取組状況について
 - ・ 制服部会
 - ・ 校歌・校章部会
 - ・ こども見守り部会
4. 専門部会毎の協議
(専門部会毎に分かれる)
5. その他
 - ・ 次回日程について
6. 閉会

開 会 (19時00分)

1. 開会

杉本委員長が開会挨拶をした。

コミュニティ・スクールとしての施設一体型小中一貫校・宇治西小倉学園の特徴(案)として、コミュニティ・スクール、4・3・2制、カリキュラム・ポリシーの大切さの話をした。

2. 報告事項

芦田校長が『宇治西小倉学園開校準備委員会設置要項』の改正について説明した。

3. 専門部会の取組状況について

・米村部会長が、制服部会の取組状況について説明した。

・竹田部会長が、校歌・校章部会の取組状況について説明した。

(校歌の作成 方法 案 の検討)

案① キーワードを西小倉地域（児童生徒・保護者・地域）に公募し、西小倉地域の児童生徒を中心に専門家も交えて作詞・作曲を行う。

案② キーワードを西小倉地域（児童生徒・保護者・地域）に公募し、作詞・作曲は専門家に依頼する。

案③ すべてを専門家に依頼する。

(校章の作成 方法 案 の検討)

案① 校章デザインを西小倉地域で公募（児童生徒・保護者・地域）し、部会で絞り込んで投票を行う。

案② すべてを専門家に依頼する。

・門脇部会長が、こども見守り部会の取組状況について説明した。

《質疑・応答》

委員：制服については理解できたが、体操服についてはどのようなになるのか。

制服部：体操服については、教職員のワーキンググループで検討しており、小学生も西小倉中学校と同じデザインのものにしていこうという話になっている。現在使用している体操服がまだ着られるようならそれを着てもらってもいい。

委員：制服部会について3点ある。アンケートはこの用紙が1枚配られるだけなのか。

制服部：アンケートの説明資料を配付し、そこに現在の西小倉中学校の制服の写真も載せるようにして、わかりやすいようにしていきたい。

委員：アンケートは何のためにとるのか、アンケートの結果をどのように生かすのかといったことをアンケートに答える人がわかるように説明資料に載せるようにしてほしい。

制服部：了解した。

委員：個人的には標準服ということにしてほしいと思っているという意見を前回の会議で言った。このアンケートでは、制服ということが決まったように見えるが制服にするということは決まったことなのか。

制服部：制服部会での議論の中で宇治西小倉学園としては標準服でなく制服とするということが決まった。

委員：部会は意見を言う場であって決定権はないのではなかったのか。

制服部：部会で話したことをもとに準備校長会で校長として決定した。

委員：決定したことを開校準備委員会の場で報告する必要はないのか。決定していないことについてアンケートをとることはおかしいのではないか。

制服部：アンケートの説明文には開校準備委員会の制服部会での議論を経て宇治西小倉学園としては制服とすることになったという説明は入れるように考えている。

委員：説明文を入れるにしても順序が逆なのではないか。開校準備委員会の全体の場合、制服部会で話し合われたことについて意見を言うことができないのか。納得ができない。

委員：制服は、何年生から着るのか。4・3・2制の話があり『3』のところには5・6年生がいるが、5・6年生も制服を着るのか。

制服部：5年生からという話もあったが、制服部会として中学生から着用するという事になった。

委員：小学校の制帽について、有る学校、無い学校があるが統一したりアンケートを取ったりするのか。

制服部：制帽については、現在学校で議論しているところ。

委員：制服については、調整会議にあずけるという説明だったが、制服部会は今後どうなるのか。

委員長：そのことについては、この後の専門部会で話し合ってもらう。アンケート結果について話をしてもらうことにもなるかもしれない。

委員：開校準備委員会の発足の時から意見を言っているようにそもそも開校準備委員会の性質として、議論はするが決定権はないということに疑問を感じる。校則についての請願が出たことで制服については調整会議であずかるということはおかしいのではないか。先ほどの専門部会からの報告を聞いていても校歌・校章部会ではかなり部会として踏み込んだ内容に思えたが、それでも部会としては、決定権がない。見守り部会でも議論はするが、この部会で決め切れるような話でもない。専門部会や開校準備委員会の進め方の整理をしてほしい。

委員長：調整会議で整理していきたい。

制服部：制服部会委員として、なぜ制服については調整会議があずかることになったのかということについて補足をしておきたい。制服部会としては決定権がないことについて他の保護者からはそのことはわかりにくい。外部からの誹謗中傷等から制服部会のメンバーを守りたいという委員長の意見を受け入れ、調整会議あずかりとすることになった。

委員：それを言い出したら他の部会でも同じではないか。そんなことでは議論が封じられてしまう。そもそも開校準備委員会は、自由な議論をするために非公開としているということだった。この場が決定の場ではないのであれば何でも話せるはず。自由な議論ができる場づくりをしてほしい。

校歌校章部：校歌・校章部会としては、先ほど説明した通り、校歌については3案、校章については2案で検討していく。他の委員の方はどのように考えているか意見を聞きたい。

委員：校歌のキーワードを西小倉地域の方や児童生徒に公募することはいいことだと思うが、児童生徒が作詞作曲に関わることは難しいと思うので、個人的には案②がいいと思う。

校歌校章部：私自身が音楽クラブの指導をしていて、知り合いの音大卒の方にも助言をしていただいたり、直接児童生徒の指導をしていただいたりすることもできるので、児童生徒が作詞や作曲をしていくことも可能だと考えている。

委員：そもそもここで考えた案が通るのか。

類(校長)：私としては、案①か、案②がいいのではないかと考えているが、案①になったとしても、子どもたちがどのように関わっていくのかをしっかりと考えていただければ可能だと思う。

委員：キーワードだけでなく、公募を知った西小倉地域の方が、作詞、作曲を全てやりたいと思って、完成した校歌を提出された場合はどうするのか。

校歌校章部：あくまで、公募はキーワードと考えている。

委員：南小倉小学校の校歌は地域の方がつくられた。キーワードだけでなく、作詞・作曲を行いたいと考える方もいると思うので、全てをお願いしてはどうか。

委員長：見守り部会についての意見はないか。

見守り部：意見があればいただきたいが、通学路が細かいルートが決まっておらず、4月頃には決まる予定。細かいルートが決まれば見守りが必要な定点などの議論もできるが、まだ意見をいただく段階ではないかもしれない。

委員長：先ほどの説明の中で地域の方に協力してもらうことが難しくなっているという話があったが、まずは地域の方に関心を持ってもらうことが大切で、そのための下地づくりが必要だと思う。子ども真ん中委員との関りも大事という話だったが、保護者も地域の一員として関わってもらうという発想も必要ではないか。見守り隊については、手厚く見守ってもらうことで子どものリスクマネジメントが落ちることにつながるといった点にも配慮して考えてもらいたい。

4. 専門部会毎の協議 (専門部会毎に分かれる)

《専門部会ごとの協議(20分)》

5. その他 次回日程について

次回日程について、吉川課長が説明した。

2月下旬から3月中旬まで日程調整を行う。

6. 閉会

杉本委員長が閉会のあいさつをした。

全員一致が本来の民主主義であり、納得のための熟議の必要性の話をした。

閉 会 (20時55分)